

主催者挨拶 高野敬三(教育庁教育監)

皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介をいただきました、東京都教育監の高野と申します。日頃から皆様には、幼児・児童・生徒への安全教育の実施、そして地域での見守り活動にご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

先ほどの話にもございましたが、本年の6月、練馬区立の小学校において、通学路で帰宅途中の児童が切りつけられるという、極めて痛ましい事件が発生いたしました。被害に遭われました児童とその保護者の方々には謹んで御見舞い申し上げたいと思います。

また、当該校において、登下校時の見守りをされている児童通学案内員や地域の方々のご協力に深く感謝申し上げます。

この事件を受けまして、都教育委員会では児童や保護者の心のケアのために、アドバイザースタッフを当該校へ派遣する準備を行うとともに、PTA、自治会、青少年団体、警察署との連携を深めまして、地域と一体となった安全確保体制の再点検を行うよう依頼をしたところでございます。

また各学校の危機管理マニュアルを再確認し、教職員全体で安全管理についての共通理解を深め、学校の安全管理体制を強化することについてもお願い申し上げました。さらに、幼児、児童、生徒の安全の確保及び安全指導を徹底するよう区市町村の教育委員会にご依頼申し上げたところです。

昨年度には、通学中の児童や保護者が交通事故に巻き込まれる事故なども起きておりまして、通学路における痛ましい事件や事故が数多く発生しております。

都教育委員会では、通学路における事件や事故から幼児・児童・生徒を守るために様々な取組を進めているところでございますが、やはりこれは何といたっても皆様のお力添えをいただきまして、地域が一体となつての見守りが不可欠であると考えております。

本日は、教職員、警察、行政関係者や地域の見守り活動にご尽力をなされている方々に多数お集まりいただいていると聞いております。今後、学校、警察、行政のみならず、地域全体でさらに子供の見守り活動が充実するよう、本日の、これから行われるシンポジウムの内容が少しでも皆様の活動の一助となることを期待申し上げます。

結びとなりますが、東京都教育委員会は今後も幼児・児童・生徒の安全教育の充実を図るとともに、家庭や地域との連携を一層密にいたしまして、通学路の安全確保に向けて尽力してまいりますので、皆様方のご協力をぜひお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

(以 上)